

1. 図書館のあゆみ

- | | | |
|--------------|-----|---|
| 明治44年 (1911) | 7月 | ・東郷慎十郎氏等の寄付を基に、町立図書館として、鎌倉小学校（現在の第一小学校）内に設立 |
| 大正12年 (1923) | 9月 | ・関東大震災で倒壊のため閉館、のち、第一小学校の教室を使用 |
| 昭和11年 (1936) | 5月 | ・間島弟彦氏未亡人愛子さんからの建設費寄付により、大町蔵屋敷の御用邸跡に新館設立 |
| | 10月 | ・新館が開館 |
| 19年 (1944) | 3月 | ・軍に接收され閉館 |
| 21年 (1946) | 6月 | ・図書館再開 |
| 25年 (1950) | 7月 | ・図書館法施行にあたり、「鎌倉図書館」を「鎌倉市図書館」に改称・ |
| 37年 (1962) | 6月 | 団体貸出開始 |
| 45年 (1970) | 6月 | ・腰越貸出所開設 |
| 46年 (1971) | 10月 | ・資料の複写サービス開始 |
| | 12月 | ・大船子ども文庫開始 |
| 48年 (1973) | 4月 | ・深沢子ども文庫開始 |
| 49年 (1974) | 8月 | ・中央図書館竣工 |
| | 10月 | ・中央図書館開館（10月1日） |
| | | ・中央図書館に視聴覚ライブラリー開設、16ミリ映写機類の貸出開始・ |
| | 12月 | 大船貸出所開設 |
| 50年 (1975) | 11月 | ・中央図書館で「おはなし会」開始、52年から全館で定期的を実施 |
| 52年 (1977) | 10月 | ・視覚障害者への録音図書郵送貸出サービス開始 |
| 55年 (1980) | 5月 | ・深沢図書館開館（深沢行政センター内）、深沢子ども文庫廃止 |
| 57年 (1982) | 10月 | ・大船図書館開館（大船行政センター内）、大船貸出所、大船子ども文庫廃止 |
| 61年 (1986) | 8月 | ・中央図書館でCD貸出開始 |
| 62年 (1987) | 4月 | ・玉縄図書館開館（玉縄行政センター内） |
| 平成2年 (1990) | 4月 | ・中央図書館で市販ビデオ貸出開始 |
| | | ・中央図書館に外国語図書コーナー開設 |
| 3年 (1991) | 4月 | ・祝日開館（試行）開始 |
| | 6月 | ・神奈川県図書館情報ネットワーク（KLネット）加入 |
| 4年 (1992) | 4月 | ・祝日開館実施 |
| 7年 (1995) | 7月 | ・市内全館コンピュータシステムオンライン導入
貸出点数を本・雑誌6冊まで、AV3点までとし、期間を3週間（雑誌のみ1週間）とする |
| 8年 (1996) | 10月 | ・夜間開館試行（平日の木・金曜日、17:00～19:00） |
| 9年 (1997) | 8月 | ・大船図書館にAV資料配置 |
| | 11月 | ・第1回「リサイクル図書展」開催（平成11年度から「図書リサイクル」に名称変更、平成18年度まで毎年1回開催） |
| 10年 (1998) | 2月 | ・投書箱「利用者の声」設置 |
| | 10月 | ・藤沢市図書館との広域利用実施 |
| | | ・市のホームページに図書館のページを開設 |

- 11年（1999） 3月 ・腰越図書館開館（腰越行政センター内）、A V資料配置
- 3月 ・夜間開館本施行（平日の木・金曜日、17：00～19：00）
- 4月 ・「おひざにだっこのおはなしかい」各館で開催、以後各館で定期的に実施
- 7月 ・図書館所蔵資料のインターネット検索サービス開始
- 12年（2000） 3月 ・「鎌倉市図書館サービス計画」策定
- 8月 ・玉縄図書館にA V資料配置
- 11月 ・子ども読書年記念「おはなし講座」開催
- 13年（2001） 4月 ・定期休館日を月1日（毎月最後の月曜日）のみとする、開館日の拡大を実施
- 7月 ・「としょかんいんになってみよう！（一日図書館員）」開催始まる
- 8月 ・国立国会図書館総合目録ネットワークへの参加承認される
- 9月 ・「鎌倉市図書館資料管理方針」が図書館協議会で承認される
- 10月 ・i-m o d e版ホームページを公開
- 11月 ・第一期「おはなしボランティア養成講座」開催
- 12月 ・市内各図書館にC D-R O M検索用パソコン導入
- 14年（2002） 5月 ・J R鎌倉駅構内に返却ポストを設置
- 10月 ・中央図書館に検索用インターネットコーナーを設置
- 15年（2003） 4月 ・各地域館に外国図書配置
- 7月 ・「図書館子ども会議」（子ども利用者懇談会）開催
- 10月 ・鎌倉女子大学との協力開始
- 16年（2004） 3月 ・コンピュータシステム更新、携帯電話からの蔵書検索サービス開始、館内の検索用端末（OPAC）からの予約受付開始、貸出期間を全て2週間とする
- 4月 ・インターネットでの予約受付開始
- ・マンガの貸出開始
- 10月 ・D V D貸出開始
- ・「鎌倉市図書館資料管理基準」が図書館協議会によって策定される
- 17年（2005） 4月 ・子ども向け行事でのボランティアとの協働開始
- 7月 ・ブックスタート本実施
- 12月 ・「図書宅配便」「障害のある方への無料郵送サービス」開始
- 18年（2006） 3月 ・鎌倉市子ども読書活動推進計画策定開始
- 10月 ・地域図書館に検索用インターネットコーナーを設置（腰越図書館のみ11月設置）
- 19年（2007） 1月 ・中央図書館に「からだといのちの図書コーナー」を設置
- 4月 ・J R大船駅のブックポスト運用開始
- 10月 ・オンラインデータベースの導入
- ・デジターの郵送貸出開始
- 20年（2008） 2月 ・「よむべえ」中央図書館に導入
- ・鎌倉市子ども読書活動推進計画策定
- 3月 ・中央図書館多目的エレベーターの設置
- 4月 ・図書リサイクルコーナーを全館に設置
- 9月 ・図書館協議会市民委員の公募開始

21年（2009）	10月	・市民協働事業 ファンタスティック☆ライブラリー2008を開催
	9月	・図書の出点数を10冊に拡大
	10月	・コンピュータシステム更新
	11月	・市民協働事業 ファンタスティック☆ライブラリー2009を開催
22年（2010）	4月	・「あかちゃんと楽しむおはなしかい」初開催。以後各館で年2回開催 ・「鎌倉市図書館資料管理基準」一部改訂、著作権の許諾が得られた寄贈CD-ROMの出借ができるように定める。
	11月	・デジター再生機器「プレクストーク」貸出サービス開始
	12月	・電子図書館の実証実験実施（23年3月まで）
23年（2011）	3月	・東日本大震災－協働事業2件（図書館見学会、講演会）中止 －計画停電による手書き貸出実施 －夜間開館の一時中止

平成23年度・一年のあゆみ

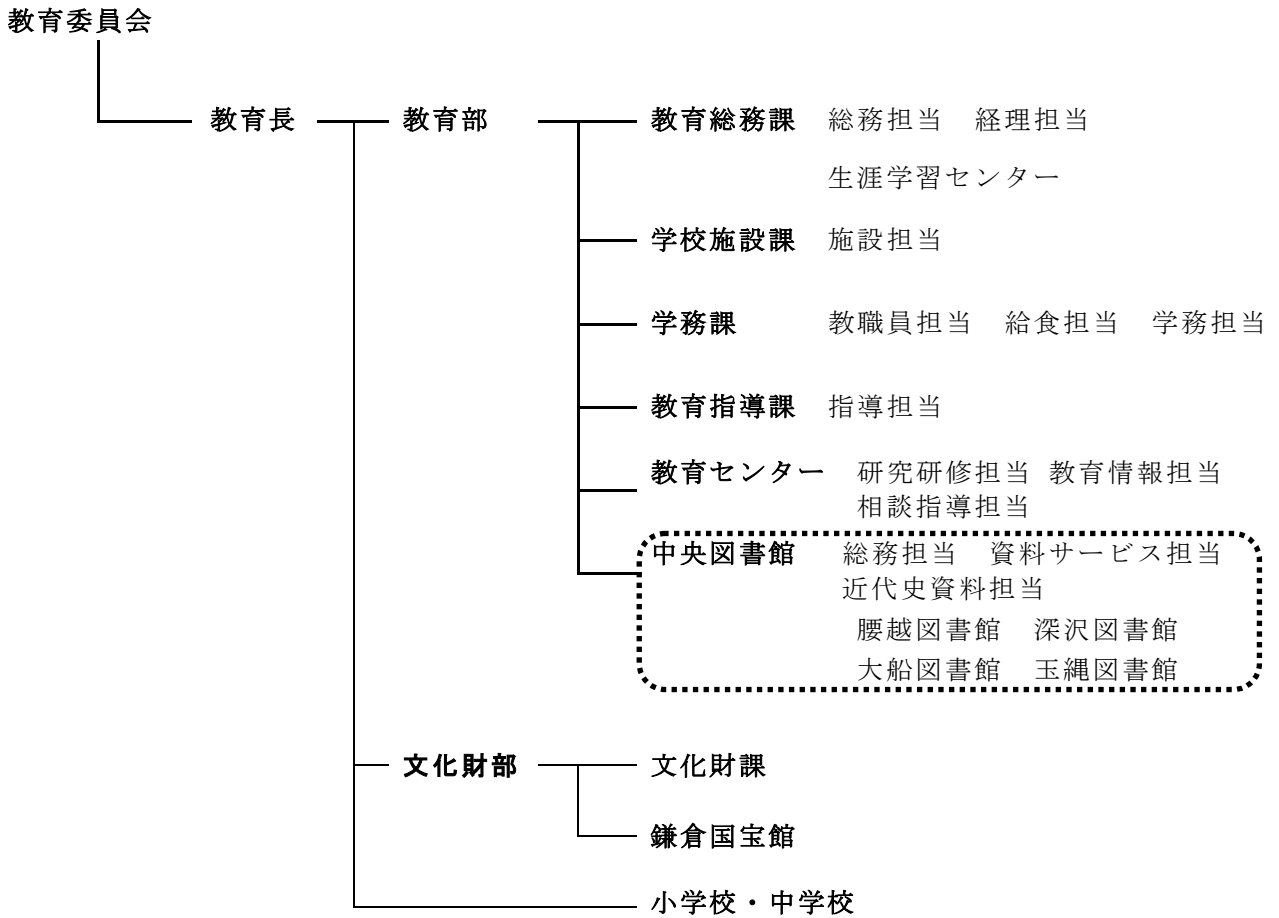
- 4月 ・「デジカメ写真絵本づくり体験」開催
- 5月 ・鎌倉図書館だより 106号発行
- 6月 ・平成23年度団体貸出利用者懇談会開催
- 7月 ・鎌倉市図書館開館100周年記念式典
・100周年関連展示 「鎌倉海浜ホテル追憶」展（文学館）
・地下道ギャラリー50展示
・「としょかんいんになってみよう（一日図書館員）」全館で開催
・平成23年度第1回図書館協議会開催
- 8月 ・「江ノ電おもしろ教室」開催
- 9月 ・ツイッター開始
・図書館基金条例可決
- 10月 ・ファンタスティック☆ライブラリー100を開催（～11/13まで）
・図書館基金条例交付
・開館100周年記念講座「鎌倉の別荘地文化」（全3回 12月まで）
- 11月 ・開館100周年記念子ども講座「映写技師になってみよう」
・福島民報（中央図書館）・福島民友（深沢図書館）閲覧開始
- 12月 ・「中学生・高校生のおはなしかい」開催
・百年史資料、所蔵貴重資料整理事業（～3/31）
- 1月 ・郷土資料展示「鎌倉の「高札」－寺分村より」
- 2月 ・鎌倉図書館だより 107号発行
- 3月 ・平成23年度第2回図書館協議会開催

2. 機 構

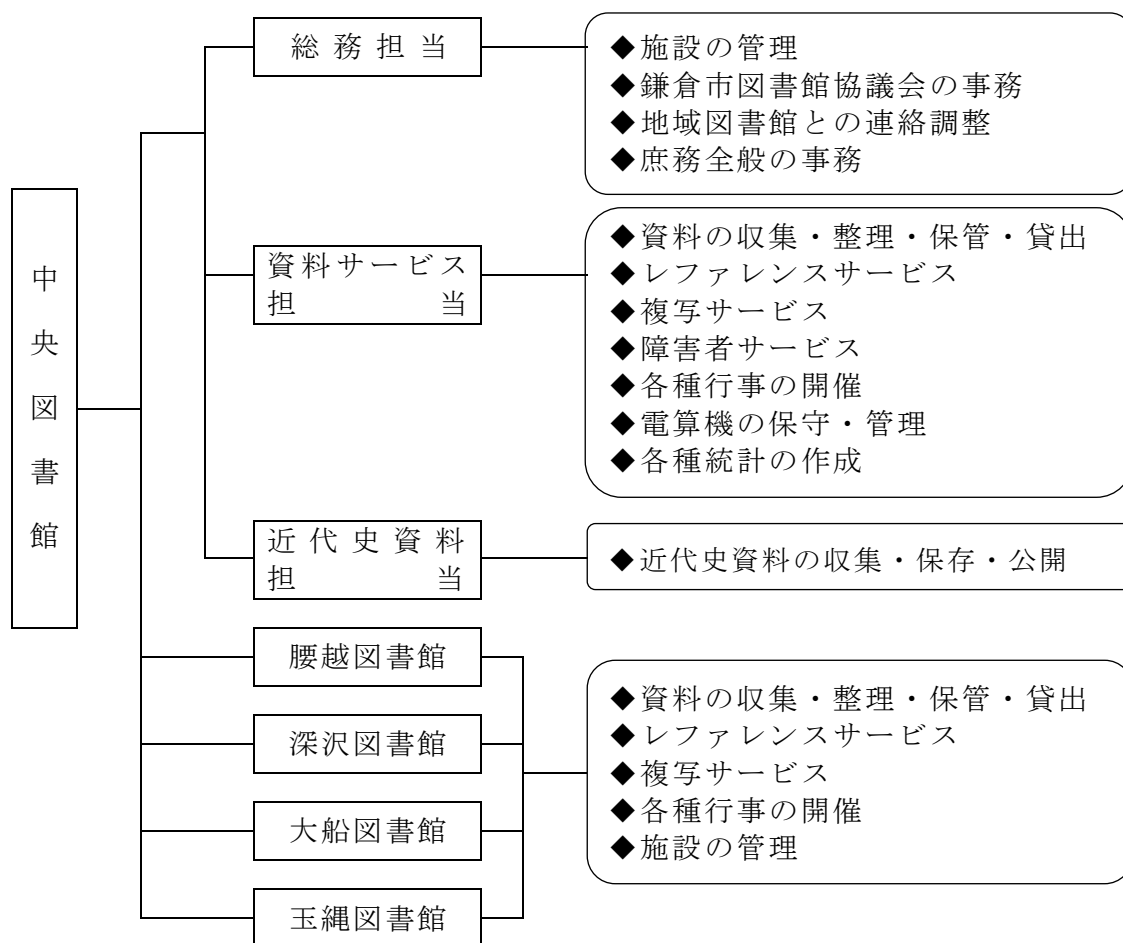
(1) 教育委員会機構図

図書館は、市長とは独立した執行機関である教育委員会教育部に属する機関です。

(平成24年4月1日現在)



(2) 図書館の組織・主な事務内容



(3) 図書館職員

(平成24年4月1日現在)

	職 員	嘱 託 員
中央図書館長	1	
総務担当	2 (2)	
資料サービス担当	8	14
近代史資料担当	1 兼務	1
腰越図書館	3	6
深沢図書館	3	5
大船図書館	3	6
玉縄図書館	3 (1)	6
計	23人 (3人)	38人

* (2) は再任用職員数、2人で職員1人分の勤務、玉縄の(1)は休業中

* 近代史資料担当は資料サービス担当のうちの1人と兼務。

* 職員総数のうち司書有資格者20人、図書館業務嘱託員総数のうち司書または司書補有資格者26人

(4) 図書館内各種委員会

鎌倉市図書館では、各種サービスや運営方法を各種委員会で検討・実施しています。

① 館長会議

図書館運営に関わる決定機関です。各種会議の報告や各館の情報交換も行っています。市内5館の館長及び係長以上の職員で構成されています。

② 児童奉仕委員会

- 0歳からの子どもと、子どもを取り巻く大人へのサービス全般を担当しています。
- ・おはなし会、おひぎにだっこのおはなしかい等の定例行事を開催しています。
 - ・年齢別におすすめする本のリストを作成、発行、配布しています。
 - ・学校との連携を進めています。おはなし会、ブックトークなどの訪問サービスや、教職員・PTAが主催する講座、研修会に講師を派遣する等、講座・講演会を実施しています。
 - ・市役所の関連課と連携してブックスタート事業を実施しています。
 - ・子どもへのサービスをより充実させるため、ボランティアを養成しています。

③ 資料管理委員会

- 図書・雑誌・新聞・AV等の資料の管理を行う委員会です。
- ・「鎌倉市図書館資料管理方針」（平成13年9月）および「鎌倉市図書館資料管理基準」（平成16年10月・22年4月一部改定）に基づき、資料の収集・保存・除籍等の基準の策定、見直し、管理を行います。
 - ・雑誌・新聞の新規購入・寄贈受入・中止について検討をします。

④ 運用委員会

- よりよい図書館サービスのため、サービス提供の方法等を検討する委員会です。
- ・貸出・登録・予約等のサービスやカウンター業務がスムーズに行われるように運用方法を検討します。
 - ・「図書館の自由」に係わる問題が起きたとき、対応を検討します。
 - ・個人情報保護の側面から図書館業務を検討します。

⑤ PR委員会

- より図書館に親んでもらうため、広報活動を行う委員会です。
- ・館報「かまくら図書館だより」や「テーマ別本のリスト」を編集・発行しています。
 - ・図書館利用を促進するための配布物の作成、行事の企画・実施をしています。
 - ・ホームページ、ツイッターの企画、更新をしています。

⑥ YA委員会

ヤングアダルト層に図書館や本に親んでもらうための企画を立案・実施する委員会です。コーナーの整備やイベント企画をしています。

3. 図書館協議会

図書館協議会は、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービスについて館長に意見を述べる機関です。

図書館法の定めにより設置され、社会教育関係者、教育関係者、学識経験者からなる委員5名で構成されています。平成20年度から1名を市民公募枠により選出・任命しています。希望者は傍聴できます。

(1) 設 置 鎌倉市図書館協議会設置条例に基づく。

(2) 定 数 5名

(3) 任 期 2年

(4) 平成23年度図書館協議会

開催日時	主な審議・報告事項
第1回 平成23年7月12日(月) 14:00～17:20	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館開館百周年記念事業について ・子ども読書活動推進計画について ・鎌倉市第2次図書館サービス計画について（諮問）
第2回 平成24年3月27日(火) 14:00～16:20	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市図書館振興基金について ・鎌倉市図書館協議会設置条例の改正について ・平成24年度予算・重点事業について ・鎌倉市第2次図書館サービス計画について（審議）

(5) 図書館協議会委員

任期	氏名	職業又は役職	選出区分
H22.12.15 ～ H24.12.14	田中康正	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	杉本晴子	作家	社会教育関係者
	兵藤嘉子	鎌倉市立第二小学校校長	学校教育関係者
	阿曾千代子	「図書館とともだち・鎌倉」代表	社会教育関係者
	増井久之	(元香川大学大学院教授)	市民公募

4. 鎌倉市図書館一覧

	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館
所在地	〒248-0012 御成町20-35	〒248-0033 腰越864 腰越行政センター内	〒248-0022 常盤111-3 深沢行政センター内
☎ F A X	☎ 25-2611 FAX 24-6544	☎ 33-0711 FAX 33-0724	☎ 48-0022 FAX 43-5676

開館年月	(旧) 1911(M44) 7月 (新) 1974(S49) 10月	1999(H11) 3月	1980(S55) 5月
------	---------------------------------------	--------------	--------------

対象地域人口 (H24. 4. 1現在)	47,093人	10,056人	34,492人
-------------------------	---------	---------	---------

面積	一般コーナー	575㎡	240㎡	380㎡
	児童コーナー	143	130	126
	ブラウジング コーナー	56	35	42
	A Vコーナー	58	30	—
	書庫	314	92	168
延床面積(その他含)		2,539㎡	684㎡	820㎡

閲覧席	一般	104	16	11
	児童	18	7	6
	その他	11	29	30
	計	133席	52席	47席

※その他…ソファー、長イスなど

大船図書館	玉縄図書館	計
〒247-0056 大船2-1-26 大船行政センター内	〒247-0072 岡本2-16-3 玉縄行政センター内	
☎ 45-7710 FAX 43-5711	☎ 44-2218 FAX 43-5722	

1982 (S57) 10月	1987 (S62) 4月
----------------	---------------

42,305人	25,351人	174,161人
---------	---------	----------

190 m ²	224 m ²	1,609 m ²
135	123	657
40	72	245
8	—	96
—	—	574
462 m ²	512 m ²	5,017 m ²

6	17	147
12	12	55
22	20	119
40席	49席	321席

5. 平成23年度図書館費（含む 24年度予算）

(1) 予算・決算

単位：円

		平成23年度 (当初予算)	平成23年度 (決算)	平成24年度 (当初予算)	
一般会計		56,464,165,000	55,484,718,243	55,269,698,000	
教育費		4,809,010,000	5,349,608,594	5,082,843,000	
社会教育費		1,476,763,000	1,978,951,145	1,790,869,000	
図書館費		150,558,000	144,882,561	136,611,000	
図書館費 内 訳	報酬	45,988,000	45,986,400	46,072,000	
	賃金	345,000	316,520	317,000	
	報償費	559,000	489,883	10,000	
	旅費	2,819,000	2,255,150	2,816,000	
	需用費	47,173,000	46,206,872	43,558,000	
	内訳	消耗品費	37,619,000	37,609,886	34,318,000
		燃料費	613,000	608,005	694,000
		印刷製本費	1,013,000	742,902	467,000
		光熱水費	5,445,000	4,797,637	5,557,000
		維持修繕料	2,298,000	2,289,187	2,298,000
		備品修繕料	120,000	120,000	114,000
		車輛修繕料	65,000	39,255	110,000
	役員費	2,608,000	2,479,009	2,782,000	
	内訳	電信料	925,000	830,848	1,102,000
		運搬料	70,000	69,720	70,000
		手数料	1,548,000	1,518,699	1,548,000
		保険料	65,000	59,742	62,000
	委託料	23,651,000	20,164,873	13,344,000	
	使用料及び賃借料	27,316,000	26,766,463	27,124,000	
	工事請負費	0	0	0	
備品購入費	0	0	0		
負担金補助及び交付金	99,000	99,000	87,000		
積立金	0	118,391	501,000		

予算の主な内訳

- 一般会計：鎌倉市全体の予算
- 報酬：図書館協議会委員・各館の図書館業務嘱託員への報酬など
- 報償費：図書館行政協力者への謝礼など
- 需用費：予算一覧表内訳のとおり
- 消耗品費：この中に図書館資料（本・雑誌・新聞・AV資料）や、文具類の購入費が含まれます。
- 印刷製本費：郷土資料の製本、予約連絡ハガキの印刷費など
- 役員費：予算一覧表内訳のとおり
- 手数料：図書館建物の維持管理のための経費。各種機器の保守点検など
- 使用料及び賃借料：主に図書館の全コンピュータ・システム稼働の費用
- 負担金補助及び交付金：日本図書館協会や神奈川県図書館協会の分担金など
- 積立金：鎌倉市図書館振興基金への積立金など（寄附金額）
※図書館費には、一般職員の給料、職員手当などは含まれていません。

(2) 資料購入費

図書館の予算のうち、資料購入費は次のとおりです。

図書資料には、図書のほか雑誌、新聞の購入費等を含みます。

単位：円

		平成23年度		平成24年度
		当初予算	決算	当初予算
中央図書館	図書資料費	14,749,000	14,845,000	15,065,297
	AV資料費	60,000	600,000	400,000
	計	15,349,000	15,298,600	15,105,297
腰越図書館	図書資料費	4,820,000	4,820,000	4,200,000
	AV資料費	—	—	—
	計	4,820,000	4,820,000	4,200,000
深沢図書館	図書資料費	5,060,000	50,600,000	4,430,000
	(うち団体貸出)	(350,000)	(350,000)	350,000
	AV資料費	—	—	—
	計	5,060,000	50,600,000	4,430,000
大船図書館	図書資料費	5,240,000	5,240,000	4,720,000
	AV資料費	—	—	—
	計	5,240,000	5,240,000	4,720,000
玉縄図書館	図書資料費	4,710,000	4,710,000	4,100,000
	AV資料費	—	—	—
	計	4,710,000	4,710,000	4,100,000
全館計	図書資料費	34,579,000	34,075,000	34,075,000
	AV資料費	600,000	600,000	600,000
	計	35,179,000	34,675,000	34,675,000

6. 平成23年度の主な事業実施報告

<図書館開館百周年記念関連事業の実施>

(1) 図書館開館百周年記念事業の実施

鎌倉市の図書館は、平成23(2011)年7月20日に県内の公共図書館で最初に開館百周年を迎えました。これを記念する事業について平成17年3月に図書館協議会に諮問し、その答申に沿って平成19年3月に鎌倉市図書館開館百周年記念事業準備委員会、平成21年4月に同実行委員会を設置して検討を重ね、記念事業として大別するとイベント事業(記念式典、記念講演)と出版事業を行いました。

① 記念式典、記念講演

7月20日に生涯学習センターきらら鎌倉ホールに於いて開館百周年記念式典を開催しました。熊代徳彦教育長の挨拶、松尾崇市長・伊東正博市議会議長・長尾真国立国会図書館長・塩見昇日本図書館協会理事長・林秀明神奈川県図書館協会会長からご祝辞をいただきました。

【表彰】鎌倉市図書館創設にあたって援助をいただいた東郷慎十郎氏のご子孫、並びに2代目図書館(御成小学校内)建設にあたって援助をいただいた間島弟彦氏のご子孫、また現在も図書館の活動にご協力をいただいている11のボランティア団体(鎌倉アカデミアを伝える会、鎌倉視聴覚協会、鎌倉市点訳・赤十字奉仕団、鎌倉朗読・録音奉仕会、郷土史料を読む会、〈CPCの会〉湘南・鎌倉生涯現役の会部会、玉縄の古文書を読む会、図書館とともだち・鎌倉、蟲の会、安田三郎写真を保存する会、りんどう)を表彰しました。

【講演】同日午後、市内在住の芥川賞作家藤沢周氏の講演「本のある街角から～本・出版・3.11」、文化庁長官近藤誠一氏の講演「文化による日本の再建～都市の役割」開催。

② 記念展示

7月20日～24日に生涯学習センター地下ギャラリーで開館百周年記念展示において、「鎌倉市図書館100年のあゆみ」「鎌倉市図書館の貴重資料」「市民とつくる図書館(ボランティア団体11団体の活動報告)」「子どもとつくる未来の図書館(市内在住絵本作家等原画展)」の各テーマで、貴重な資料を含め展示を行いました。見学者は888名を数えました。

③ 記念講座

- ・ 一般向け:「鎌倉の別荘地文化」(3回)講師:島本千也氏。延べ120名の参加者があり、好評を博しました。
- ・ 子ども向け:「映写技師になってみよう!」「としょかんこどもえいがまつり」を子ども対象で開催しました。参加者98名。

④ 開館百周年記念映画会を市民団体「鎌倉視聴覚協会」「りんどう」のご協力で開催。計11回、372名参加。

⑤ 出版事業

『鎌倉図書館百年史』、『鎌倉市図書館100年のあゆみ』、『絵葉書で見る鎌倉百景』、『復刻絵葉書「鎌倉玉手箱」1～5集』の4種を出版しました。

・『鎌倉図書館百年史』

鎌倉の図書館の歴史をまとめたもので、2名の専門委員にご意見をいただきながら、市民による実行委員と図書館職員で執筆しました。国内外の図書館等関係機関と協力者に寄贈しています。

・『鎌倉市図書館100年のあゆみ』

図書館の歴史をビジュアルに伝えるため、写真を多用してまとめたもので、カウンターやイベント等で配布しています。

・『絵葉書で見る鎌倉百景』

昔の鎌倉の風景を追体験してもらえるよう、約百年前の絵葉書186枚を、分類し解説を加えたものです。(鎌倉の自然、鎌倉の神社仏閣、鎌倉の建造物、鎌倉を走る江ノ電、その他(災害や戦争))。頒布しています。(1500円)

・『復刻絵葉書「鎌倉玉手箱」第1集～第5集』

『絵葉書で見る鎌倉百景』で使用した絵葉書の内、30枚を「鎌倉の自然①」「鎌倉の自然②」、「鎌倉の神社仏閣①」「鎌倉の神社仏閣②」、「鎌倉を走る江ノ電」に分け、セットにしたものです。実費(6枚1セット300円)で頒布しています。

(2) 百年史関連所蔵貴重資料整理とデジタル化事業

(神奈川県緊急雇用創出事業臨時特例基金市町村補助金交付金により実施)

① 図書館関連文書の整理とデジタル化

百年史の基になった図書館日誌や戦時中の県や図書館協会からの事務文書等8,852枚をリスト化とデジタル化をし、現物は資料保存用の中性紙製封筒145袋に収めた後、中性紙ボード製の保存箱5箱に収納しました。

② 明治期の貴重書等の整理

著名な著者の署名や献呈署名がある貴重な資料をリスト化し、特に貴重な資料1,328冊については中性紙ボード製の保護容器(カイルラッパー)を作成し、劣化を防いで保存する環境づくりをしました。また和装本については、1,250点を薄紙に包んだ後、中性紙製封筒に収納しました。これにより、鎌倉市図書館が所蔵する貴重な資料を活用し、また後世へと継承する手掛かりとなりました。

(3) 図書館基金の創設

開館百周年を機に、鎌倉市に関する貴重な資料の収集やそれらを保管するための費用を確保するために、「鎌倉市図書館振興基金条例」を新設し、「寄附のお願い」を開始しました。

<その他の新規事業>

(1) データベース導入等によるレファレンスサービスの拡充

情報通信技術(ICT)を活用した図書館サービスの第一歩として、平成24年2月から市内全館に光回線を敷設、利用者用パソコンを設置し、市民がインターネットで情報にアクセスできる環境を整備しました。これにより冊子では発行されない市・県・国などの行政情報、地域の情報などにリアルタイムで全館からアクセスができるようになりました。

また、高度化するレファレンスへ対応するため、新聞情報データベース「ヨミダス歴史館」を導入しました。「ヨミダス歴史館」は読売新聞の記事を明治7年から現在(検索当日)まで、1,150万件以上の記事の検索・閲覧できるため、探したい記事に容易にたどり着くことができ、人名録機能も備えているため、幅広い調査研究に役立つデータベースです。

レファレンスサービスのために職員が活用するほか、全館に整った利用者用インターネットパソコンを利用して利用者自ら利用することも可能になりました。

今後も、さまざまなメディアに対応できる環境と資料の整備に努めます。

(2) 第2次図書館サービス計画の見直しと図書館協議会への諮問

平成23年7月諮問。審議継続中。

<その他の継続事業>

(1) 資料の充実

視覚障害者や印刷物を読むことが困難な人のためのデジタル録音資料である DAISY 図書の製作を開始しました。

(2) 鎌倉市子ども読書活動推進計画(平成20年策定)に沿った事業の推進

① 学習パック・子ども読書パックの整備活用

平成23年度開始の事業ですが、特に学習パックは好評で市内の多くの小中学校に搬送貸出を行いました(利用34回/年)。読み物を中心とした子ども読書パックも、学級文庫のような役割を担い、何度も利用する学校も出てきています。

② おはなしボランティア活動推進事業の充実

おはなしボランティアとの協働によるブックスタート事業、あかちゃんと楽しむおはなしかい・おひざにだっこのおはなしかい・おはなし会、市内施設への訪問サービスや学校訪問等を行いました。また、おはなしボランティア養成講座を開催し、ボランティアの養成・育成にも取り組みました。

また、継続して「本の海サポーターズ交流会」や「鎌倉市子ども読書活動推進連絡会」を開催し、地域、学校、家庭と連携して子どもたちと読書環境を結びつける活動を続けています。

更に、第2次子ども読書活動推進計画策定に向け、市民委員を交えた策定委員会を立ちあげ、協議を開始しました。

(3) ブックスタート事業の実施

ブックスタートは、絵本を介して親子で肌のぬくもりを感じながら、言葉を通わすひとときを応援する事業です。親子や家族でコミュニケーションを深めるとともに心を育むきっかけづくりをしています。平成17年7月より市民健康課と共催しており、市民健康課主催の6か月育児教室の中で、絵本の読み聞かせ、わらべうた等を楽しみます。その後、絵本やブックリスト、図書館の利用案内や図書館カード申込書などを入れたブックスタートパックを配付しています。

(4) 近代史資料収集体制の充実

関係団体との協働による資料展示・資料刊行等、資料整理に取り組む職員体制の整備と資料使用許諾、撮影等の手続きの整備等を行いました。

(10. 近代史資料室の事業で詳報)

鎌倉市図書館開館100周年記念事業 ～フォトギャラリー～



上左：開館百周年記念式典

上右：記念講演（文化庁長官 近藤誠一氏）

中左：記念講演（作家 藤沢周氏）

中右：記念展示会

（2011.7.20 鎌倉生涯学習センター）

下左：記念講座 かおかおパンダと図書館で大きな絵を描いちゃおう！

講師：かおかおパンダ氏 （2011.11）

下右：記念講座 「鎌倉の別荘文化」講師：島本千也氏（2011.10～12）

7. 平成24年度の重点事業項目

新規事業

- (1) 近代史資料収集体制の充実
教育委員会機構に近代史担当を独立設置。
資料の組織化を進め、保存と利用の精査を行う。
関係団体と協力し資料展示、資料整理に取り組む。
資料使用許諾、撮影等の手続き整備等。
ホームページの充実。
- (2) 第2次鎌倉市図書館サービス計画の策定
- (3) 第2次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定
- (4) 次期図書館システムの検討

継続事業

- (5) 資料の充実
資料管理方針の見直し、選書収集体制の検討、「図書館の自由」の確認、DAISY 図書製作。
- (6) 子ども読書活動推進計画に沿った事業の推進
関係課、関連団体との連携を深めて、子どもの読書環境の充実を図る（教職員研修、学校図書館専門員、読書活動推進員との連携など）。
- (7) 職員の研修と専門的資質向上
図書館全体としての専門能力を上げる。
- (8) デジタル情報の活用
図書館ホームページ「鎌倉市図書館 100 年の歩み」に百年史資料整理事業の成果公開。
- (9) 図書館振興事業の企画と PR
関係団体・市民との協働をはかりながら行う。